

## 低侵襲心臓手術 MICS; Minimally Invasive Cardiac Surgery

心臓血管外科 上西祐一郎

心臓の手術は一般的には胸の真ん中の胸骨を大きく縦に切開して行います(写真2)。しかし、僧帽弁や三尖弁の弁膜症、心房の病変であれば、右前胸部6-9 cmの小さな切開で手術を行うことができます(写真1)。「きず」を小さくして胸骨切開を行わない手術方法は縦隔炎や胸骨骨髓炎の合併が少なく、在院日数や退院後の日常生活への復帰が早いので低侵襲心臓手術(MICS; Minimally Invasive Cardiac Surgery)とよばれています。国内ではまだ限られた施設でしか行われておりませんが、自治医科大学附属病院循環器センターではMICS手術を2011年4月から開始しました。

2012年12月までに僧帽弁形成術11例、僧帽弁置換術3例、右房腫瘍切除1例(35-83歳、男性8例、女性7例)をMICSで行い全例合併症なく軽快退院されております。女性の患者様では、乳房の陰に「きず」が隠れて見えにくくなるので美容的なメリットもあります。

小さな「きず」の心臓手術MICSを希望される患者様は心臓血管外科外来にご相談ください。

写真 1 ; MICS による右胸壁の「きず」



一般的な心臓手術の「きず」; 胸骨正中切開

